

内視鏡手術支援ロボット

# ダヴィンチの威力紹介

## 「より正確、精密に」

### 製鉄室蘭病院 がんセミナー

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第48回市民公開がんセミナー」が26

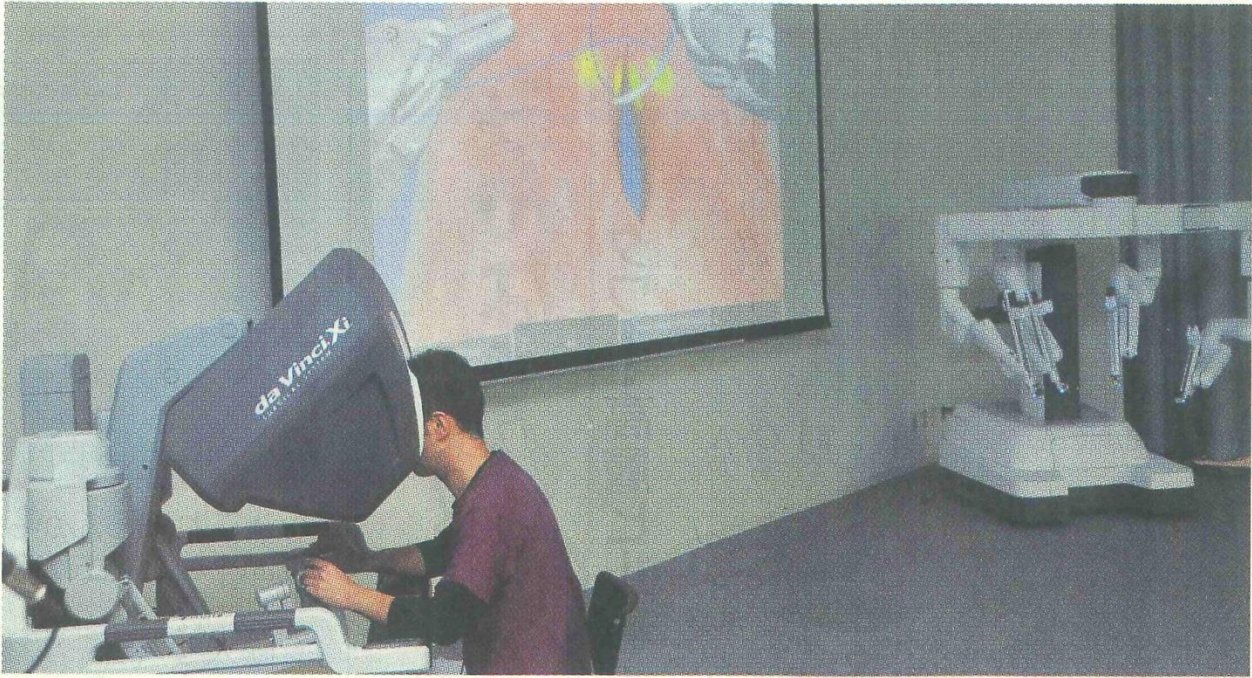
日、室蘭市知利別町の同病  
院がん診療センターで開か  
れ、市民らは内視鏡手術支  
援ロボット「ダヴィンチ」  
を用いた前立腺がんの治療  
などを学んだ。  
市民ら約70人が耳を傾け

る中、泌尿器科の前鼻健志  
主任医長が「ダヴィンチを  
用いたがん治療」について  
解説。日胆管内では初導入  
の「ダヴィンチ」が、地域  
医療にもたらすメリットな  
どにも触れた。

「」の中で、前鼻主任医長  
は「2020年には、男性  
のがん罹患者数で第1位と  
なる見通し」の前立腺がん  
について、標準治療の一つ  
である前立腺全摘術が「1  
センチに満たない小さな傷口に  
よる治療や、より正確な手  
術が可能となる」と強調。  
「術後の尿漏れが少なく、  
性機能維持の可能性も高  
い」との利点も示した。

同病院では、消化器外科  
の大腸がん手術や呼吸器外  
科の肺がん手術でも、ダヴィ  
ンチを用いていくとい  
う。前鼻主任医長は、「泌  
尿器科領域と同く、より  
正確で精密な手術が可能に  
なる」と説明。市民らも真  
剣に耳を傾けていた。

(松岡秀直)



「ダヴィンチ」のデモ操作などを通じて、利点を説明する前鼻主任医長